

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/8 (12/1との比較) 今後の見通し (※4)	12/8 (12/1との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.86% (▲0.05)	88.32円 (▲0.12%)	+3.0% 2017年3Q	1.00%	中銀は市場予想通り政策金利の据え置きを決定。声明文では、直近発表された経済指標が良好であると示した一方、利上げ可能性についてハト派的な姿勢が示されたことから、カナダドルは対円で下落。国債利回りは低下。	景況感指数などの発表を予定。引き続き、原油価格の動向や、利上げ可能性の高い米国の金融政策、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉などに注意が必要も、債券・為替市場はレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.53% (▲0.07)	34.47円 (+0.08%)	+1.4% 2017年3Q	7.00%	中銀は利下げを決定。7-9月期のGDP（国内総生産）は前期比で市場予想を下回ったものの、プラスを維持。また4-6月期のGDPが上方修正されたことが好感され、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	小売売上高などの発表を予定。中銀は来年早期の利下げ終了を示唆。年金改革法案の先行き不透明感など政治的リスクが引き続き懸念されるものの、景気は回復基調が続いており、レアルの下値は堅い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.19% (+0.07)	6.00円 (▲0.37%)	+1.5% 2017年3Q	7.00%	製造業PMIは50を超える結果。市場予想を上回ったCPIを受けて、中銀の利上げ観測が高まったものの、米シェールガス生産の活動の拡大懸念から原油価格が下落し、ペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	鉱工業生産や金融政策決定会合を予定。米国の利上げ予想に追従して、同国の利上げ可能性が強まるも、NAFTA再交渉や原油価格の動向をにらみつつ、ペソは神経質な展開を想定。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/8 （12/1との比較）	12/8 （12/1との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.53% （▲0.00）	85.21円 （▲0.22%）	+1.8% 2017年2Q	1.50%	中銀は政策金利の据え置きを決定。良好な小売売上高や米国の地政学リスクの上昇から豪ドルは買われる場面があった一方、GDPや貿易収支が市場予想を下回ったことが嫌気され、豪ドルは対円で下落。国債利回りは横ばい。	雇用統計などの発表を予定。ロウ中銀総裁の講演や、FOMC（米連邦公開市場委員会）など、各国の金融政策委員会が予定されているものの、足元では豪ドルをサポートする材料は乏しく、為替市場は軟調な推移を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.79% （+0.07）	77.68円 （+0.53%）	+2.8% 2017年3Q	1.75%	製造業活動指数や酪農品入札の落札価格が上昇。金融政策を柔軟に運営する余地があると中銀総裁代行が発言したことが、利上げの可能性を示唆するものと捉えられ、国債利回りは上昇。ニュージーランドドルは対円で上昇。	経済指標は堅調な内容のものが目立ったものの、酪農協同組合が酪農品価格予想を引き下げるなど、景気の先行きは予断を許さない状況。製造業PMIのほか、政府による経済財政アップデートの発表を予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.49% （+0.01）	13.68円 （+0.94%）	+3.2% 2017年3Q	0.50%	企業調査で売り上げ見通しが前回調査を上回るなど、景気の着実な改善を示唆する内容に。鉱工業生産も予想に沿って増加。経済指標が良好となる中、国債利回りは上昇。ノルウェークローネは対円で小幅上昇。	中銀の理事会などを予定。景気は明確な拡大局面に入っているものの、そのペースは依然緩やかであり、政策金利の据え置きを予想。インフレ率も安定した動きが続く公算が大きく、金融市場への影響は限定的と予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/8 （12/1との比較）	12/8 （12/1との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.37% （+0.01）	8.32円 （+2.06%）	+0.8% 2017年3Q	6.75%	鉱物生産量は増加、GDP（国内総生産）は市場予想通りとなるなど、経済指標は堅調。与党党首選を控え、副大統領が優勢との報道を市場が好感し、ランドは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	インフレ統計や小売売上高などの発表を予定。債務格付けの格下げ懸念が、長期的に同国の債券・為替市場の下押し圧力になると予想。短期では与党の党首選を控えてさまざまな報道が出やすく、変動の大きい展開を想定。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.08% （+0.00）	0.84円 （+0.84%）	+5.1% 2017年3Q	4.25%	製造業PMIは50超の水準を維持。消費者信頼感指数も前月から改善。一方で、CPIの前年比伸び率は鈍化。市場の円安傾向を受けて、ルピアは対円で上昇。国債利回りはほぼ横ばい。	金融政策決定会合の開催を予定。インフレ上昇圧力が弱まるも、米国での利上げにより資本流出への警戒感が強まることなどから、政策金利は据え置かれる見込み。ルピアは引き続き底堅く推移する見込み。
	Baa3			 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.93% （+0.03）	1.76円 （+1.14%）	+6.3% 2017年3Q	6.00%	中銀は市場予想通り政策金利の据え置きを決定。モディ首相の地元であるグジャラート州の選挙を前に与党が優勢との見方が強まったことが好感され、ルピーは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	鉱工業生産などの発表を予定。18日に判明する選挙結果を前に、14日に出口調査結果が発表される。与党の勝率が高まれば、モディ首相の政策が好感されたのと見方が広がり、ルピーは堅調に推移する見込み。
	Baa2			 景気回復	 据え置き局面		

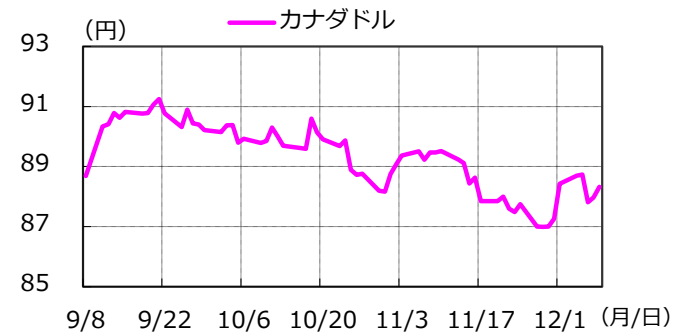
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/9/8～2017/12/8

カナダ



ブラジル



メキシコ

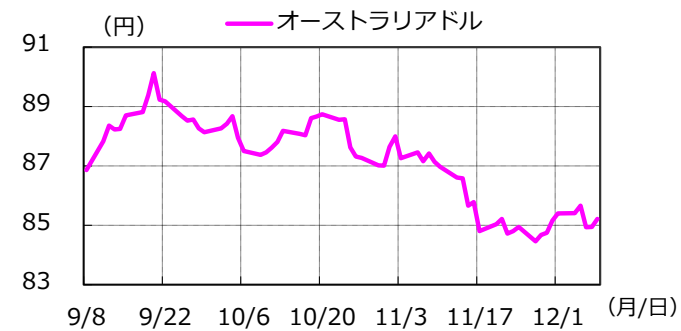


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

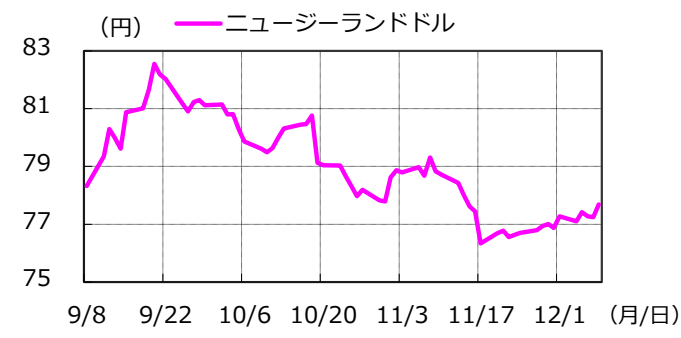
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/9/8～2017/12/8

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/9/8～2017/12/8

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。